

㊦ 5・6年生 | 「かんたん英会話」

教室で「ちょこっと英語」を楽しもう！

来たる2011年から、小学校5・6年生に外国語活動（英語活動）が導入され、2009年から前倒しで授業を始めなくてはならない小学校も多いと聞きます。45分間の授業をもたせるだけでも大変なのに…、そんな先生方に、モジュール式のできる1日5～10分ほどの「ちょこっと英語」をご紹介します。

① 英語で健康観察

朝、必ずとる健康観察を英語でやってみます。これは、低学年でも高学年でもひとりが必ず1回は発声するチャンスです。

Teacher : What day is it today?

Students : December (the) 25th, Thursday.

T : How's the weather?

Ss : It's sunny!

T : OK. Let's start your health check in English. A (児童名), how are you?

A : I have a cold.

Ss : That's too bad. Take care.

A : Thanks.



ひとりひとりの健康観察をしていくと時間はかかりますが、じっくり子どもと向き合うことができます。病名がよくわからない場合は、そのつど、辞書で確認して、英語を使います。

② 英語で号令！

号令を英語で行うと、子どもたちは気が引き締まるようです。終了時もまたしかり。給食時のいた

きます、ごちそうさまでも、英語が使えます。

授業を始めます！

Day Duty (日直) : Straight!

Students : Yeah!

D D : Let's start P.E.

Ss : Let's start P.E.

Everyone : Yoroshiku Onegaishimasu!

いただきます！

Day Duty (日直) : Straight!

Students : Yeah!

D D : Let's eat lunch!

Ss : Let's eat lunch!

Everyone : Itadakimasu!

③ ビバ・パペット！

高学年だから…と言っても、パペット（人形）が登場すると、たちまち注目し、ノリノリになってしまう、パペットは英語活動に欠かせない必需品です。A4サイズ用の紙でも簡単にパペットを作ることができます。パペットを使いながら簡単な英会話を担任が紹介した後、子どもたちはパペットで同様の活動をします。声音を変えたり、会話文を勝手に追加したり…と楽しい活動が展開できます。

“Oh, what are you eating?!”

“I'm eating my pencil-case!”

“Oh, my gosh!!”



▲手作りパペット

“Learning by doing. 習うより慣れよ”、いや “Learning by enjoying. 習うより楽しめ”、の気持ちと一緒に英語活動を盛り上げましょう。きっと明るい学級づくりにも効果抜群です。